

2023年2月21日

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

報道関係者各位

**2022 年も和田毅選手が途上国の子どもたちにワクチンを支援。
「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」通じて贈った
2005 年からのワクチンの本数は合計 700,000 本分に**

福岡ソフトバンクホークスの和田毅選手が 2005 年から行なっている、開発途上国の子どもたちに感染症のワクチンを支援する活動。2022 年もスペシャルサポーターとして活躍する「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(以下:JCV、本社:東京都港区)を通し、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの 4 カ国の子どもたちに 39,650 本分(金額にして 2,738,000 円)のワクチンを寄贈しました。

試合で 1 球を投じるごとにワクチンを 10 本、勝利した試合は 1 球ごとに 20 本、完投勝利で 30 本など、和田投手が「僕のルール」(寄付のルール)を決めて支援したワクチンの合計は 700,000 本分に達しました(金額にして 42,597,430 円)。

(球団 HP での紹介: <https://www.softbankhawks.co.jp/csr/action04.html>)



JCV からの感謝状を受け取る和田選手 (※差し替え)

【和田選手の支援内容】

◎投球数に応じたワクチンの寄付

- 公式戦での投球数 1 球につき : ワクチン 10 本を寄付
- 勝利投手となった場合 1 球につき: ワクチン 20 本へ変更
- 完投勝利となった場合 1 球につき: ワクチン 30 本へ変更
- 完封勝利となった場合 1 球につき: ワクチン 40 本へ変更
- オールスターゲームに登板したとき 1 球につき: ワクチン 100 本を寄付

◎チームや自身の成績に応じたワクチンの寄付

- パ・リーグ優勝の場合: ワクチン 10,000 本を加算
- クライマックスシリーズ優勝の場合: ワクチン 10,000 本を加算
- 日本シリーズ優勝の場合: ワクチン 10,000 本を加算
- 最多勝・最優秀防御率・沢村賞等、個人タイトルを獲得した場合
タイトル 1 つにつき: ワクチン 10,000 本を加算

【和田選手からのメッセージ】

いつから意識しはじめたかはわかりませんが、社会支援をやりたいとは思っていました。でも、プロ野球選手になったらやろう、という風に考えていました。ちょうどそのころ、ワクチン支援の活動に出会ったんです。

ワクチンを贈るというシンプルでわかりやすい活動が魅力的で、あまり迷わず JCV の活動に参加することを決めました。1 球投げるごとにワクチン 10 本を贈るという僕のルール、このルールを自分の励みとして投げてきました。

これからも世界の子どもたちのために投げ続けたい。そして、ワクチンを贈り続けたいと思います。皆さんも、一緒にワクチンを届けましょう。



【僕のルールとは】

「投球一球でワクチンを 10 本。勝利投手になれば 20 本。完投で 30 本、完封なら 40 本、タイトル獲得や優勝で 10,000 本」など、JCV の子どもワクチン支援活動に協力するため、和田投手が 2005 年に取り組み始めた寄付のルールです。

自分らしく、また頑張った分だけ寄付が増え自身の励みにもなる、これまでになかった新しい寄付の方法は、和田選手の込めたメッセージとともに多くの共感呼び、企業、個人に関わらず、日本中に「僕のルール」を生み、企業の CSR 活動や SDGs 活動にも大きな影響を与えました。現在、226 の企業・団体が、それぞれのビジネスと連動した子どもワクチン支援を行ってくださっています。(僕のルールによる支援に関するお問い合わせはこちら：<https://www.jcv-jp.org/contact/inquiry>)

(和田投手のメッセージを動画でご覧いただけます：

https://www.youtube.com/watch?v=snL-4i_EKo)

【団体概要】

- 団体名： 認定 NPO 法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会
- 代表： 理事長 剣持 睦子 (ケンモチ ムツコ)
- 創設者： 会長 細川 佳代子 (ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相相夫人)
- 本社所在地： 東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F
- URL：www.jcv-jp.org
- 設立： 1994 年 1 月 29 日
- スペシャルサポーター：

竹下景子 (ワクチン大使・女優)、和田毅 (プロ野球選手)、早見優 (歌手・女優)、三國清三 (オテル・ドゥ・ミクニ・オーナーシェフ)、進藤奈邦子 (WHO メディカルオフィサー)、鏡リュウジ (翻訳家・心理占星術研究家)、安藤優子 (ジャーナリスト)、キャンプ革命 ボトルマン (株式会社タカラトミー)

- 事業内容：

<開発途上国への子どもワクチン支援>

1 日 4,000 人と言われている、世界でワクチンがないために感染症で命を落とす子どもたち。5 歳未満で亡くなる子どもの約 3 人に 1 人はワクチンで予防可能です。

JCV はこの子どもたちの命を救うため開発途上国にワクチンを贈り、子どもたちの未来を守る活動を行う民間の国際支援団体です。支援者の皆さまから預かりした寄付をワクチンや関連機器に換え、現地の国連児童基金 (UNICEF) 事務所及び現地政府と連携して毎年支援国の子どものために届けています。2022 年はミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの 4 カ国に 1 億 1,606 万 6,601 円分の支援を実施しました。

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会

広報・啓発・教育グループ 乙津、高橋

TEL : 080-3754-0286 / 080-5930-3012 FAX : 03-5419-1082

E-mail : otsu@jcv-jp.org / takahashi@jcv-jp.org